

北陵タイムズ

北諫早中学校だより No.9
 令和5年7月3日
 文責 校長 小川 太洋
<http://www.kitaisahaya@isahaya-snet.ed.jp>

感動と友情が芽生える
 楽しい学校

特集 長崎っ子の心を見つめる教育週間

命の尊さ
 校長語る

教育週間（6/24～6/30）を実施しました。「命の尊さ」と「思いやりの心」を育てることを目的とし、県内すべての公立小・中学校で、小学校1年生から発達段階に応じて継続的に行われているものです。

最終日に授業参観を行う予定でしたが、あいにくの大雨のため、保護者の皆様の安全確保を最優先し、中止とさせていただきます。当日は、各学年で「命」をテーマに道德の授業を展開し、各学級で懸命に取り組む子供たちの学びの姿があったことを、ここにお知らせします。

教育週間に先立ち、6月26日、校長による全校道德を体育館で行いました。今年は、小田和正さんの「彼方」という曲をもとに「生命の誕生と尊さ」、さらには、沖縄慰霊の日に行われた詩の朗読をとおして「今生きていること」の素晴らしさを子供たちに伝えました。

途中、近くの友達と意見交換する場面を設定しましたが、短い時間にもかかわらず互いの気持ちを交換し、その後全体で発言する場面も見られ、北中生の自主性の高まりにも感心しました。

その後学級に戻り、振り返りシートへの記入を行いました。「望まれて生まれてきた命の大切さや友達・家族への感謝の気持ち」が素直に

表現されていました。どんな時も、何事にも頑張り、心優しい北中生であってほしいと願っています。ご家庭でも、校長講話や各学級の道德の内容を、話題にいただければ幸いです。

愛は尊い

川原 舞衣（3年）

今日の校長先生の話聞いて、改めて感じたことや初めて気がついたことがありました。まず愛は尊いものであることです。自分が生まれた時の様子やその時の親の表情などは一生知ることができません。しかし今、日常生活の中で、愛情をもらって生活しているということは実感します。だから親のためにも命を決してむだにしないように生活していきたいです。また、集団で活動する時は、喜びや悲しみをお互いに共有し、誰も一人にしない、悲しい思いをする人がいないように心がけて、毎日を過ごしていきたいと思います。

[生徒感想より]

◇入賞おめでとう（市中総体空手道競技）

女子個人形 3位 村中 眞子（6/17実施）

◇優勝おめでとう（全日本少年軟式野球県大会）

6月4日に行われた県大会で優勝し、佐賀県で行われた九州大会に出場しました。

勉強になりました

6月27日（火）～29日（木）の3日間の日程で職場体験学習を実施しました。例年2年生で実施している行事ですが、過去3年間、コロナ禍のなか実施できていませんでしたので、4年ぶりの実施となりました。

まずもって、受け入れていただいた事業所の皆様に感謝申し上げる次第です。今回受け入れていただいた事業所は34か所に及びます。その内訳も教育・福祉から製造業と様々でした。

私もいくつかの事業所を訪問し、子供たちの頑張っている様子を見て回りました。どの事業所でも、子供たちが笑顔で取り組んでいる姿が印象的でした。事業所の方からも、あいさつの大切さを助言されていたところが多かったようです。

3日間の経験は、これからの学校生活や、近未来的な職業観の醸成に大きく役に立つものと思えました。



コミック本の補充をする本校生徒

7月行事

体験行事がいっぱい

4	火	少年の主張諫早大会
6	木	ものづくり体験学習（1年）
7	金	デートDV防止出前講座（3年）
10	月	平和講話（1年）
14	金	夏の交通安全週間（～20日）
18	火	県中総体・県吹奏楽コンクール激励会
20	木	1学期終業式、5校時まで <u>（給食あります）</u>
22	土	県中総体（～24日）
24	月	二者・三者面談（～8/1）
30	日	県吹奏楽コンクール県央大会